

Carebara diversa

(Jerdon, 1851)

ヨコヅナアリ

集団で襲撃する略奪アリで、小さな働きアリと頭の巨大な大型働きアリがつくる行列はグンタイアリそっくりに見え、最も小さな働きアリが最も大きな働きアリの背に乘ります。



写真： Jonghyun Park (clurarit), CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

26–30 °C

巣の中



巣の湿度

60–80 %

巣の中



休眠

不要

結婚飛行

まだデータがありません

雨のあと



働きアリ

2–9 mm

大型働きアリは最大15 mm



女王

19–25 mm

女王は1匹または複数



コロニーの規模

働きアリ10,000匹規模

成長速度：速い



脱走リスク

高い

脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で

活動期



この種の実産地での月です。正確な日は天気で決まり、室内で飼育しているコロニーは別のリズムになることがあります。

同じ縮尺での大きさ

働きアリ

2–9 mm

大型働きアリ

≤ 15 mm

女王

19–25 mm

0 5 10 15 20 25

飼育の早見表

食べ物

昆虫

砂糖

おすすめの巣

1. 自然再現型のセットアップ
2. Ytongの巣

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ✓ 休眠の管理が不要です
- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ 一年中、一定の暖かさが必要です
- ⚠ コロニーが巨大になるため、広げられる余裕が必要です

飼育者からのメモ

ヒント

湿り気を保ちつつ風通しのよい、深い土の巣、または土とYtongを混ぜた巣を用意し、アリ自身に掘らせて形を作らせましょう。乾ききったコロニーは1日で死ぬことがあるため、少なくとも1つの部屋は常に湿らせておき、ダニやカビを避けるために、庭の土は先に煮沸してください。

注意

小さく始めないでください。単独の女王アリを育てるのはとても難しく、働きアリが数百匹だけのコロニーは、最初の数か月は元気でも、1年近くたつと衰えていくことが多いと飼育者は報告しています。寿命の短い小型働きアリの補充が止まるためです。ブルードがたっぷりある安定したコロニーから始めるほうが安全です。